

令和 6 年 3 月 4 日

茨城県知事

殿

〒312-0032 茨城県ひたちなか市津田3728番地

医療法人社団 秀峰会

理事長 須賀茂樹



決 算 届

令和3年 10月 1日から令和4年 9月30日までの決算を終了したので、医療法第5  
2条第1項の規定により届出します。

[添付書類]

1. 事業報告書
2. 財産目録
3. 貸借対照表
4. 損益計算書
5. 監事の監査報告書



事 業 報 告 書  
(自 令和3年10月 1日 至 令和4年 9月30日)

1 医療法人の概要

- (1) 名 称 医療法人社団 秀峰会
- ① ☐ 財団 ☒ 社団 ( ☐ 出資持分なし ☒ 出資持分あり )
- ② ☐ 社会医療法人 ☐ 特定医療法人 ☐ 出資額限度法人
- ☒ その他
- ③ ☒ 基金制度採用 ☐ 基金制度不採用

注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)

- (2) 事務所の所在地 茨城県ひたちなか市津田3728番地

注) 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。

- (3) 設立認可年月日 平成16年8月9日

- (4) 設立登記年月日 平成16年9月6日

- (5) 役員及び評議員

	氏 名	備 考
理 事 長	須賀 茂樹	介護老人保健施設ラプラス津田・つだ中央クリニック管理者
常務理事	飛田 鮎美	
理事	笹沼 博之	
同	飛田 けさ江	
同	須賀 裕子	
監 事	小貫 康弘	

注) 1. 「社会医療法人、特定医療法人及び医療法第42条の3第1項の認定を受けた法人」以外の医療法人は、記載しなくても差し支えないこと。

2. 理事の備考欄に、当該医療法人の開設する病院、診療所又は介護老人保健施設 (医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の管理者であることを記載すること。(医療法第46条の5第6項参照)

3. 評議員の備考欄に、評議員の選任理由を記載すること。(医療法第46条の4第1項参照)

〔別 紙〕

様式 1

## 2 事業の概要

- (1) 本来業務（開設する病院、診療所、介護老人保健施設又は介護医療院（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務）

種 類	施設の名称	施設の医療機関コード 又は介護事業所番号	開 設 場 所	許可病床数
介護老人保健施設	ラプラス津田	0852180066 0852180074 0872101811	茨城県ひたちなか市津田3728番地	入 所 定 員 80名 通 所 定 員 40名
診療所	つだ中央クリニック	2111417	茨城県ひたちなか市津田3728番地1	一般病 10床

注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を[ ]書で記載すること。

3. 介護老人保健施設又は介護医療院の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

- (2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

種類又は事業名	実 施 場 所	備 考

注) 地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

- (3) 収益業務（社会医療法人が行うことができる業務）

種 類	実 施 場 所	備 考

- (4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

令和3 平成30年11月25日 令和3 平成30年度決算の決定

注) (5)、(6)については、医療機関債を発行又は購入した医療法人が記載し、(7)以下については、病院、介護老人保健施設又は介護医療院を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないこと。

〔別 紙〕  
様式 1

(5) 当該会計年度内に発行した医療機関債

なし

注) 医療機関債の発行総額、申込単位、申込期間、利率、払込期日、資金使途、償還の方法及び期限を記載すること。なお、発行要項の写しの添付に代えても差し支えない。

医療機関債を医療法人が引き受けた場合には、当該医療法人名を全て明記すること。

(6) 当該会計年度内に購入した医療機関債

なし

注) 1. 医療機関債を購入する医療法人は、医療機関債の発行により資産の取得が行われる医療機関と同一の二次医療圏内に自らの医療機関を有しており、これらの医療機関が地域における医療機能の分化・連携に資する医療連携を行っており、かつ、当該医療連携を継続することが自らの医療機関の機能を維持・向上するために必要である理由を記載すること。

2. 購入した医療機関債名、発行元医療法人名、購入総額及び償還期間を記載すること。

なお、契約書又は債権証書の写しの添付に代えても差し支えない。

(7) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設

なし

(8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容

該当なし

(9) そ の 他

特になし

注) 当該会計年度内に行われた工事、医療機器の購入又はリース契約、診療科の新設又は廃止等を記載する。(任意)

## 様式 2

法人名 医療法人社団 秀峰会

※医療法人整理番号

所在地 茨城県ひたちなか市津田3728番地

## 財 産 目 録

(令和4年 9月 30日現在)

1. 資 産 額	1,462,057 千円
2. 負 債 額	1,435,989 千円
3. 純 資 産 額	26,068 千円

(内 訳)

(単位：千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	246,980
B 固 定 資 産	1,215,077
C 資 産 合 計 (A + B)	1,462,057
D 負 債 合 計	1,435,989
E 純 資 産 (C - D)	26,068

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (□ 法人所有 □ 賃借 ☒ 部分的に法人所有(部分的に賃借))建 物 (☒ 法人所有 □ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

## 様式3-1

法人名 医療法人社団 秀峰会

※医療法人整理番号

所在地 茨城県ひたちなか市津田3728番地

## 貸 借 対 照 表

(令和4年 9月 30日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	246,980	I 流 動 負 債	205,616
現金及び預金	102,138	支払手形	0
事業未収金	106,168	買掛金	19,151
有価証券	0	短期借入金	179,500
たな卸資産	2,954	未払金	0
前渡金	0	未払費用	4,461
前払費用	0	未払法人税等	335
繰延税金資産	0	未払消費税等	1,368
その他の流動資産	35,720	繰延税金負債	0
II 固 定 資 産	1,215,077	前受金	0
1 有 形 固 定 資 産	1,143,437	預り金	801
建物	969,183	前受収益	0
構築物	184	その他の流動負債	0
医療用器械備品	2,005	II 固 定 負 債	1,230,372
その他の器械備品	6,832	医療機関債	0
車両及び船舶	3,680	長期借入金	1,230,372
土地	158,360	繰延税金負債	0
建設仮勘定	0	その他の固定負債	0
その他の有形固定資産	3,193	負債合計	1,435,988
2 無 形 固 定 資 産	14,842	純 資 産 の 部	
借地権	0	科 目	金 額
ソフトウェア	35	I 出資金	270,000
その他の無形固定資産	14,807	II 利益剰余金	△ 243,931
3 その他の資産	56,797		
有価証券	0		
長期貸付金	0		
役職員等長期貸付金	0		
長期前払費用	0		
繰延税金資産	0		
その他の固定資産	56,797		
		純 資 産 合 計	26,068
資 産 合 計	1,462,057	負 債 ・ 純 資 産 合 計	1,462,057

法人名 医療法人社団 秀峰会 ※医療法人整理番号  
所在地 茨城県ひたちなか市津田3728番地

損 益 計 算 書  
(自 令和3年10月 1日 至 令和4年 9月30日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
I 事業損益		
A 本来業務事業損益		
1 事業収益		710,574
2 事業費用		
(1)事業費	143,763	
(2)本部費	534,233	677,997
本来業務事業利益		32,577
B 附帯業務事業損益		
1 事業収益		
2 事業費用		
附帯業務事業利益		
C 収益業務事業損益		
1 事業収益		
2 事業費用		
収益業務事業利益		
事業利益		32,577
II 事業外収益		
受取利息	643	
その他の事業外収益	348	991
III 事業外費用		
支払利息	34,721	
その他の事業外費用	500	35,221
経常利益		△ 1,652
IV 特別利益		
固定資産売却益	0	
その他の特別利益	0	0
V 特別損失		
固定資産売却損	0	
その他の特別損失	0	0
税引前当期純損失		△ 1,652
法人税・住民税及び事業税	335	
法人税等調整額	0	335
当期純損失		△ 1,987

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。  
2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該事業損益、事業外収益、事業外費用、特別利益及び特別損失を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。

様式 5

## 監 事 監 査 報 告 書

医療法人社団 秀峰会  
理事長 須賀 茂樹 殿

私は、医療法人社団 秀峰会の令和4年度（令和3年10月1日から令和4年9月30日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

### 監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書の監査を実施しました。

### 記

#### 監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款（寄附行為）に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款（寄附行為）に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実は認められません。

令和4年11月25日

医療法人社団 秀峰会

監事 小貫 康弘